

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : プラスライト PRC-10C  
 会社名 : 電子磁気工業株式会社  
 住所 : 東京都北区浮間5丁目6番20号  
 担当部門 : 開発部  
 電話番号 : 03-5970-8681 FAX : 03-5970-8680  
 緊急連絡先 : 担当部門に同じ  
 作成日 : 2007年10月23日 改訂日 : 2021年1月21日  
 整理番号 : SDS15120-07  
 製品コード : 15120  
 推奨用途及び使用上の制限 : 磁粉探傷試験(水仕様)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	自己反応性化学品	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
健康に関する有害性	酸化性液体	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分2
	生殖毒性・授乳影響	追加区分
環境有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(血液)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2
オゾン層への有害性	分類できない	

### GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な眼の損傷

遺伝性疾患のおそれの疑い  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
 授乳中の子に害を及ぼすおそれ  
 臓器の障害のおそれ（血液）  
 長期継続的影響により水生生物に毒性

- 注意書き :  
 安全対策 … 使用前に取扱説明書(SDS)を入手すること。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
 妊娠中、授乳期中は接触を避けること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- 応急措置 … 漏出物を回収すること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断・手当を受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断・手当を受けること。
- 保管 … 保管場所に施錠すること。  
 廃棄 … 内容物、容器を国、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学品名又は一般名	含有量(%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
ポリオキシエチレンテトラエーテル (ポリオキシエチレンアルキルエーテル)	6~10	26183-52-8	7-97
ポリエーテルポリオール (ポリオキシエチレンポリプロピレングリコール)	1~5	9003-11-6	7-327
亜硝酸ナトリウム	1~5	7632-00-0	1-483
シリコン混合物 (ジメチルシリコン)	1~5	非公開	登録済み
1,2,3-ベンゾトリアゾール	0.3~1.0	95-14-7	5-537
水	70~90	-	-

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低 15 分間洗

飲み込んだ場合 : 浄した後、医師の手当てを受ける。  
 : 口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。  
 無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、噴霧水。  
 使ってはならない消火剤 : 情報なし。  
 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。  
 特有の消火方法 : 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。危険でなければ、火災区域から容器を移動する。延焼を防ぐため安全を確認の上、周囲の可燃物を除去する。  
 消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用し、有毒なガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避ける。  
 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響をおこさないよう注意する。  
 封じ込め及び浄化の  
 方法及び機材 : 土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。  
 二次災害の防止策 : 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
 技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護装置」に記載の設備対策を行い、保護具を使用する。  
 「8.ばく露防止及び保護装置」に記載の局所排気、全体換気を行う。  
 安全取扱注意事項 : 眼に入れないこと。  
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 取扱い後は、手を良く洗うこと。  
 保管  
 保管条件 : 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に密閉して保管すること。  
 必要に応じて施錠すること。  
 容器包装材料 : 製品仕様容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 規定なし  
 許容濃度  
 日本産業衛生学会 : 情報なし  
 ACGIH : 情報なし  
 設備対策 : 屋内作業場のうち換気が不十分な場所では、局所排気装置、または全体換気装置を設ける。洗顔器を設ける。  
 保護具 : 必要に応じて下記の保護具を着用する。

呼吸器用保護具	: 活性炭、有機ガス用防毒マスク等。
手の保護具	: 適切な保護手袋。(保護手袋)。
眼の保護具	: 適切な保護眼鏡。(普通眼鏡型、ゴーグル型)。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護着。(保護衣、長袖作業着)。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: わずかに臭いあり
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び 沸点範囲	: データなし
可燃性	: 不燃
爆発下限界および爆発 上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7.0~9.5 (20°C)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール/ 水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度又は相対密度	: 1.04 (25°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的反応性、安定性	: 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性	: 強い還元剤と反応するおそれがある。強酸下においてアシと反応するおそれがある。
避けるべき条件	: 高温、混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 強酸、還元剤。
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD <sub>50</sub> =5g/kg (ラット) : ホリエテルホリオール LD <sub>50</sub> =77-150mg/kg (ラット) : 亜硝酸ナトリウム LD <sub>50</sub> =560mg/kg (ラット) : 1,2,3-ベンゾトリアゾール
急性毒性 (経皮)	: LD <sub>50</sub> >2000mg/kg (ラビット) : 1,2,3-ベンゾトリアゾール
急性毒性 (吸入)	: データなし
皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	: 弱刺激性 500mg/24h (ラビット) : ホリエテルホリオール
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 弱刺激性 500mg/24h (ラビット) : ホリエテルホリオール

中等度の発赤、軽度の浮腫等：亜硝酸ナトリウム

呼吸器感作性

又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性…データなし  
皮膚感作性…データなし

生殖細胞変異原性

: 体細胞 in vivo 変異原性試験として、ラットおよびマウスに経口投与による骨髄を用いた複数の染色体異常試験、マウスに経口投与後の末梢血を用いた小核試験およびハスターに経口投与後の胎児性細胞を用いた小核試験で、いずれも陽性の結果 (SIDS (2005)、IARC 94 (2010)) が報告されている：亜硝酸ナトリウム

発がん性

: データなし

生殖毒性

: 妊娠マウスの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、母動物が体重増加抑制を示した用量で、着床率および平均同腹仔数の有意な減少、死亡仔および早期死亡の有意な増加が認められ (SIDS (2005))、また、ラットの妊娠期間から授乳期まで経口投与した試験で仔の死亡率の増加と出生時の平均同腹仔数の減少との報告 (SIDS (2005)) : 亜硝酸ナトリウム

特定標的臓器毒性、

単回ばく露 : 摂取またはばく露により血中のメヘグロピリン形成を生じ、一部にはフェノーゼが見られ、メヘグロピリン血症を発現した多数の症例報告 (SIDS (2005)、JECFA 844 (1998)、PIM G016 (1999)) : 亜硝酸ナトリウム

特定標的臓器毒性、

反復ばく露 : ラットの 14 週間反復経口 (飲水) 投与試験 (雄：30-310mg/kg bw/day、雌：40-345mg/kg bw/day) において、雄の 200 または 310mg/kg/day 群、および雌の 130mg/kg/day 以上の群でフェノーゼが観察され、網赤血球数の増加に加え、区分 2 相当用量を含むほとんど全群でメヘグロピリン濃度が上昇した (NTP TR 495 (2001)) との報告 : 亜硝酸ナトリウム

誤えん有害性

: データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

: LC<sub>50</sub> ≥ 300mg/L/48h (ヒメダカ) : ホリエテルホリオール  
LC<sub>50</sub> ≥ 0.54mg/L/96h (ニジマス) : 亜硝酸ナトリウム  
LC<sub>50</sub> ≥ 28mg/L/96h (ブルギル) : 1, 2, 3-ベンゾトリアゾール

残留性・分解性

: データなし

生体蓄積性

: データなし

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: データなし

## 13. 廃棄上の注意

- ・内容物、容器などの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
- ・排水処理、焼却により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国連分類

: 該当なし

国連番号

: 該当なし

下記、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

- 消防法 : 非危険物
- 船舶安全法 : 非危険物 (個別運送およびばら積み運送に於いて)
- 航空法 : 非危険物
- その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

- 消防法 : 非危険物
- 化管法 : 該当なし
- 毒劇法 : 該当なし
- 安衛法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (別表第 9) 第 312 号ㄐカ
- 水質汚濁防止法 : 政令第 2 条第 26 号 亜硝酸化合物及び硝酸化合物

16. その他の情報

本製品の安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に従い作成したもので、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱い事業者に提供されるものです。取り扱い事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

主な参考文献

原材料メーカー提供の安全データシート (SDS)

日本規格協会 (JIS) JIS Z 7253 : 2019 「G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法」

NITE 化学物質総合情報提供システム (CHRIP)